

1987(昭和62)年6月28日、高尾山不動院上棟式。前列左から2人目が吉川棟梁、4人目が番匠設計の小町和義さん

本展示会では、2017年11月に開催した「八王子の宮大工小町家と番匠～小町和義の仕事展」に続き、現代の宮大工吉川棟梁を紹介し、棟梁が手掛けた高尾山薬王院別院などの社寺建築、八王子市指定有形文化財の山車修復、古民家再生など、現代に息づく宮大工棟梁の技と知恵の一端を探ります。

宮大工棟梁の技法と知恵は、時を超えて人々の五感に響きます。棟梁の知的(美的)探求心、文化的素養、技を伝える職人の育成システムなど、八王子の宮大工吉川棟梁の研鑽と実績をたどりながら、歴史文化を連綿と継承する「匠の世界」をご紹介します。

仕事展実行委員会代表 小町 和義

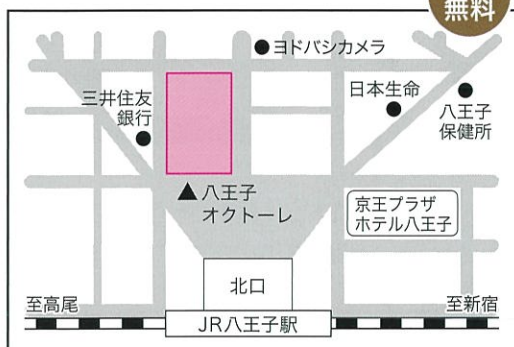


◀吉川棟梁が修復した八王子市南町の山車

会期・会場

2022年6月10日(金)～13日(月)
10:00～20:00(最終日は16:00まで)
学園都市センターギャラリーホール
(八王子オクトーレ11階)

入場無料



特別企画 「八王子の曳山祭り ―匠の技と祈りの伝承」

2022年6月11日(土) 午後2時～
学園都市センターイベントホール(八王子オクトーレ12階)

- ◆話芸：野球亭小僧「ねずみ」
- ◆記念講演：八王子市文化財保護審議会会長 相原悦夫さん
「八王子の曳山祭り～祭りを支えてきた庶民の力と匠の技の結い～」(建築文化としての「山車建築」の特性と匠の思い)

◆吉川棟梁、職人たちの紹介

八王子の夏を彩る「八王子まつり」。その一番の名物といえば、なんといっても豪壮で華麗な山車が挙げられます。吉川棟梁は、これまでいくつもの八王子市指定有形文化財の山車修復にかかわってきました。山車について長年研究されてこられた相原悦夫さんをお招きして、建築文化の視点から山車の世界の奥深さについて語っていただきます。